

登録責任医師 各位
 移植担当医師 各位
 連絡責任医師 各位

患者コーディネートに関するお知らせとお願い

| 行程 | 項目 | 現行 | 新ルール | 開始 | 備考 |
|-----------------|-----------------------------|-------|--------------------------------------|----------------------|---|
| ① 登録と検索に関する事 | ドナー指定 (yes/no) の回答期限が短くなります | 14日以内 | 7日以内 | 11/1 (木) 検索ドナー分から | コーディネートを少しでも早く進めるため、先生方からの yes/no の返信を待たずに、ドナーが検索された翌日にドナーに開始シート・問診票を送ります。そのため、特に、不採用(no)の場合は、検索当日中に返信いただくと、ドナーへのご案内前に終了し、ドナー負担を少しでも減らすことができます。 |
| | ドナーの骨髄採取の履歴を情報提供します | | 検索されたドナーに提供履歴があった場合、登録責任医師にその旨お伝えします | 11/1 (木) から | バンクでの骨髄採取履歴だけではなく、血縁に関する情報(骨髄・PBSC) が得られた場合にはお伝えします。 |
| | 患者さんの HLA 検査について(お願い) | | | | できるだけ速やかに患者さんのHLA 4桁データを揃えてくださいますようお願いいたします。 ・患者HLAが2桁のまま検索が長く続くと、後からドナーのアリルミスマッチが判明し、無駄なコーディネート期間・検査費用を費やしてしまう可能性があります。 ・患者登録時に4桁が揃ってない場合は、できる限り早い段階で患者HLA 確認検査を実施してください。 ・化学療法中で白血球が不足している場合には、口腔粘膜でのSBT法も可能です(別途DNA抽出料5250円要)。また、登録後の外来予定がない患者さんについては、他院で採血し検体を出すことも可能です。 |

登録責任医師 各位
 移植担当医師 各位
 連絡責任医師 各位

患者コーディネートに関するお知らせとお願い

| 行程 | 項目 | 現行 | 新ルール | 開始 | 備考 |
|-------------------|--|---------------------|-----------------------------------|-------------------------------|--|
| 2 確認検査から最終同意まで | ドナー確認検査結果の報告 | 登録責任医師にのみ速達郵送 | 登録責任医師と移植担当医師の両方にFAX送信します | 11/1(木)から | 速達郵送は廃止し、FAX送信のみとなります。登録責任医師と移植担当医師の両方に確認検査結果報告をお届けしますので、双方で連絡を取り合って選定通知書をご提出願います。 |
| | ドナーの最終同意面談を省略できるケース | | 一定の条件を満たせば、最終同意面談を省略できる場合があります | 11/1(木)から | ドナーの最終同意確認後に、患者理由で移植が中止になることがあります。このようなドナーが、近日内に別の患者に検索された場合、前回最終同意面談から180日以内に1位選定され、ドナーが最終同意面談を省略することを希望すれば、書面の手続きのみで、術前健診の調整からコーディネートを開始することにいたしました。対象ドナーが検索された場合には、移植調整部より都度ご連絡いたします。 |
| | さい帯血移植・血縁移植など他移植とバンクコーディネートの併行(1位選定ドナーがいる場合) | | 他移植が予定されている場合、バンクドナーの同時コーディネートは不可 | 即日 | 他移植を予定した時点で速やかにご連絡いただきバンクコーディネートは保留またはドナー解除とさせていただきます。保留にした場合は、生着が確認されるなどバンクドナーが不要となった際には速やかにご連絡願います。 |
| | 同ドナーに対する2度目の保留/移植日延期について | | サマリーの提出が必要 | 即日 | 病状悪化などの場合にはコーディネート保留が可能ですが、長期間の拘束はドナーに大きな負担をかけます。このため、同じ患者さんのコーディネートにおいて同ドナーに対する保留が2度目となる場合は、移植医から臨床経緯(サマリー)をご提出願います。その後、医療委員会でその妥当性が認められた場合のみ、2度目の保留・延期を受理させていただきますので、どうぞご理解ください。 |
| 3 その他 | 骨髄液受領書 | 骨髄液を受け取った旨を書面で確認します | | 11/1(木) ドナー術前健診 適格報告分から | 骨髄の受け渡しに間違いがないようにするために、運搬の際にご持参いただき、採取施設にお渡しください。ドナーの術前健診適格の報告とともに、骨髄液受領書を移植施設にFAXします。 |